（様式第1）

令和5年　　月日

アカデミア・コンソーシアムふくしま　御中

**令和5年度　大学発イノベーティブ・ベンチャー創出事業**

**大学発ベンチャー創出・育成プログラム**

**試作開発等支援　応募書類（応募様式）**

記

■応募者名（研究者、チーム場合はチーム名と代表者名）

■所属先（ACF加盟機関名もしくは登記されている法人名）

■所属先の住所

■電話番号（所属先の研究室）

■携帯電話番号（至急の連絡がつきやすいもの）

■メールアドレス（所属機関のドメインのもの）

■プロジェクト名

ビジネスプラン、応募内容を簡潔かつ的確に表現したタイトルを30字以内で記載してください。

（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください）

■類型選択

**Ａ類型**：

量産及び事業化前の商品試作やサービス試行に、１件あたり200万円（税込）を上限として、２件以内を採択して研究委託する。

**Ｂ類型**：

プロトタイプ試作・試行等による実証の支援に、１件あたり100万円（税込）を上限として、７件以内を採択して研究委託する。

申請する類型にチェック✅を入れてください。 ⇒　Ａ類型 ・ Ｂ類型

**尚、Ａ類型の応募申請については、Ｂ類型との併願申請を可とします。その際は両方に**✅**を入れてください。**

**Ａ、Ｂ併願申請をされた場合、Ａ類型で不採択になった方は、Ｂ類型として再度審査されます。**

**その際、仮にＢ類型として採択された場合の上限額は100万円に減額されます。**

・1円単位まで記載してください。

・別紙2の必要経費内容合計と整合。

（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください）

■経費必要額 ○○○円（経費総額）

■申請額 　　　　○○○円（各類型の上限金額以内）

　以上

（別紙１）

令和5年度　大学発イノベーティブ・ベンチャー創出事業

大学発ベンチャー創出・育成プログラム

試作開発等支援　応募書類

**1. 応募内容**

①応募者概要　　　（※）の部分は該当する場合にのみ記入してください）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| プロジェクト名  (表紙と同じに。30字以内) |  | | | | |
| プロジェクトの概要（100字程度） |  | | | | |
| 所属名（研究室） |  | | | | |
| 応募者名 チームの場合はチーム名と代表者名 |  | | | | |
| 所属先住所 | 〒 | | | | |
| 電話番号 |  | 携帯番号 |  | FAX |  |
| メールアドレス |  | | | | |
| 試作開発の実施場所 | （どちらかにチェック◉を入れる） | | | | |
| 実施場所の住所  (※) | 〒 | | | | |
| 実施場所名称 (※) |  | | | | |
| 電話番号 (※) |  | 携帯番号 |  | FAX |  |
| メールアドレス(※) |  | | | | |
| 資本金 (※)  （＊予定含む） |  | | 主たる業種　(※) |  | |
| 設立日 (※)  （＊予定含む） |  | | メンバー数  もしくは社員  (＊予定含む） |  | |
| 主要メンバー  （代表者以外） | ・役員、雇用関係にある社員、顧問などを、肩書き等も含め記載してください。  （この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） | | | | |
| 実施体制 | ・今回の応募で連携する企業、大学等があれば、その関係性がわかるように必要に応じて組織図  などを使って記載ください。  ・宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。  （書式枠の外への添付も可能です。以降同様。その場合は、書式枠内にその旨記載のこと）  （この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） | | | | |

②これまでの成果、現状の問題点

|  |  |
| --- | --- |
| これまでの成果 | ・技術開発の実績や、技術の事業化におけるPoC(概念実証)等の状況、これまでに行った事業等や  その実績について、記載してください。  ・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。  （この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |
| 現状の問題点 | ・今後の事業や技術開発における問題点やボトルネック、応募の背景となる内容を記載してください。  ・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。  （この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

③試作開発等の計画

|  |
| --- |
| ・現状の問題点をクリアするために、どのような概念実証、試作開発、市場調査等を行うのか？  その内容、スケジュール、外部連携者と応募者での実施内容の区分、成果の帰属等がわかるように記載してください。  ・必要に応じて、図や表を利用してください。  ・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。  （この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

④事業化に向けた構想

|  |
| --- |
| ・ご自身の技術シーズに基づいた社会実装、事業化に向けた企業との連携イメージ、概略のスケジュール構想を記載する。  ・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。  （この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

⑤これまでに交付を受けた県や国等の補助金、又は学術支援、委託費等の実績説明

（申請中の案件を含む）

該当ない場合は、最初の表の「事業名称及び事業概要」に欄に「該当なし」と記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体 |  |
| 実施期間 |  |
| 補助金額・委託額 | 万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |
| 事業成果・実績 | （直近の事業化段階：　　　）※事業成果・実績期についても簡潔に記載 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体 |  |
| 実施期間 |  |
| 補助金額・委託額 | 万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |
| 事業成果・実績 | （直近の事業化段階：　　　）※事業成果・実績期についても簡潔に記載 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体 |  |
| 実施期間 |  |
| 補助金額・委託額 | 万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |
| 事業成果・実績 | （直近の事業化段階：　　　）※事業成果・実績期についても簡潔に記載 |

（応募書類作成にあたって）

* このＷＯＲＤ書式で作成するにあたり、必要に応じて改行して枠を広げたり、余白を詰めたり適宜調整頂いても結構です。
* 提出にあたってはＰＤＦ化してください。
* 別記や添付としたい場合は、該当する欄にその旨を記し、別添頂いても結構です。こちらについても上記ＰＤＦに含め、まとめて１ファイルとして提出ください。

（別紙2）

令和5年度　大学発イノベーティブ・ベンチャー創出事業

大学発ベンチャー創出・育成プログラム

試作開発等支援　応募書類

**2．経費内容**

**単位：円（税込）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **経費区分** | **仕様・内容** | **個数** | **単位** | **単価** | **小計** | **仕入先又は見積徴取先**  **（※）** |
| 備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 原材料/消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 設備等借料 |  |  |  |  |  |  |
| 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |

**合計： 円（税込）**

（1枚目の必要経費額と整合）

（※）採択後提出頂く見積書や実績報告書、会計報告書等の書類との整合性が求められます。

採択および研究委託契約後、変更が必要になった場合は、すぐに必ずACF事務局にご相談ください。あらためて確認させて頂きます。